

資料3

第2次しろい健康プラン【健康増進計画】めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課	出所	計画策定前の値 (H26年度)	めざそう値 (H31の目標値)	H28	H29	H30	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の値
1.生活習慣の改善	(1)望ましい生活習慣獲得のための情報提供及び行動化を促す取り組みの強化	特定保健指導、生活習慣病予防教室、健康づくり講演会、なるほど行政講座、COPD予防教室、骨粗しょう症予防事業、定例健康相談、健診後結果相談、面接相談・電話相談・メール相談、ウォーキング事業、健康増進ルーム、総合型地域スポーツクラブ、健康情報の発信(広報・HP・情報広場)	運動を週2回している人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	45.1%	50%以上				45.7%			変わらない		
			1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますかの設問に「はい」と回答した者の割合(回答者数/受診者数)	健康課 保険年金課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績(R2以降、特定健診実績のみ)	47.9%		49.5%	48.6%	47.9%	48.1%	45.9%	43.7%	—	令和2年度より特定健診のみとなっております、比較できないとした。	※R2(特定) 国39.7% 県43.5%
			健康増進ルーム利用者数(延)	健康課	健康増進ルーム利用者実績	29,639人		29,477人	29,597人	28,385人	20,758人	2,178人	4,171人	悪化	新型コロナウイルス対策のため一日の利用定員を減らし予約制としたため利用者数が減少した。	
			ウォーキング事業参加者数(延)	健康課	ウォーキング事業実績	1回 96人		12回 314人	12回 306人	12回 270人	自主活動	自主活動	自主活動	改善傾向		
			敷地内禁煙にしている市内の公共施設(48施設)の割合の増加	健康課	市町村における受動喫煙防止対策実施状況の調査	10.4%	100%	10.4%	41.7%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	達成		
			適正飲酒量を知っている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	48.5%	55%以上				50.1%			改善傾向		
			飲酒日1日当たりの飲酒量はどのくらいですかの設問に「1合未満」と回答した者の割合(回答者数/受診者数)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績(R2以降、特定健診実績のみ)	75.8%		74.2%	76.7%	77.8%	77.9%	78.0%	78.8%	—	令和2年度より特定健診のみとなっております、比較できないとした。	※R2(特定) 国65.1% 県68.3%
			たばこを吸っている人の割合の減少(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	15.0%	13%以下				12.5%			変わらない		
			現在、たばこを習慣的に吸っていますかの設問に「はい」と回答した者の割合(回答者数/受診者数)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績	12.3%		10.6%	11.4%	11.0%	10.5%	8.2%	9.2%	改善傾向		※R2(特定) 国13.5% 県11.7%
			乳児育児相談、幼児健康診査の間診票にて喫煙していると回答した親の割合(喫煙者数/受診者数)	健康課	乳児育児相談・幼児健康診査問診票	父 36.5%(H28)		父 36.5%	31.9%	33.2%	30.7%	29.2%	30.6%	変わらない		R2 国 父33.1% 母 5.7%
						母 4.7%(H28)		母 4.7%	4.7%	4.2%	5.5%	5.1%	7.5%	悪化		
			睡眠がとれている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	72.6%	75%以上				70.6%			変わらない		
			睡眠で休養が十分とれていますかの設問に「はい」と回答した者の割合(回答者数/受診者数)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績(R2以降、特定健診実績のみ)	76.9%		76.1%	75.7%	75.9%	74.8%	76.9%	76.3%	—	令和2年度より特定健診のみとなっております、比較できないとした。	※R2(特定) 国75.6% 県77.7%
			BMI値が25以上(肥満)の人の割合の減少(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	19.8%	15%以下				24.3%			悪化		
			BMI値が25以上(肥満)の人の割合(40歳以上)(BMI25以上の人数/受診者数)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績	22.4%		20.4%	21.6%	23.6%	22.0%	24.2%	25.5%	悪化		※R2(特定) 県27.7%
生活習慣病予防教室の参加者数(延)	健康課	生活習慣病予防教室実績	167人		123人(3コース)	157人(3コース)	123人(3コース)		18人(1コース)	55人(3コース)	悪化	新型コロナウイルス感染対策のため、定員を減らすなどの見直しを行ったため参加者数が減少した。				
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	50.8%	60%以上				57.7%			改善傾向					

○「国・県の値」列の※印は、国・県に当市と同じ指標がなく、近似の値を参考として掲載しているものです

## 第2次しろい健康プラン【健康増進計画】めざそう値の達成に向けた経過一覧表

資料3

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課	出所	計画策定前の値 (H26年度)	めざそう値 (H31の目標値)	H28	H29	H30	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の値		
2. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	(1) ころの健康の普及啓発と支援の充実	ころの健康教室、ゲートキーパー養成講座、定例健康相談、教育相談、ころの相談、保健福祉相談、面接相談・電話相談・メール相談、健康情報の発信(広報・HP・情報広場)、教育課題調査研究事業	毎日の生活に充実感がない人の割合の減少(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	17.8%	10%以下				20.7%			変わらない				
			ころの健康相談での相談件数(延)	障害福祉課	ころの健康相談実績	91件		106件	94件	92件	55件	33件	49件	-	実績の相談件数は減少しているが、相談希望者へ対応できることが事業の趣旨であるため、比較できないとした。			
			家族以外に、自分の健康に関する悩みや不安を相談できる人がいる人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	64.5%	70%以上					65.3%			変わらない			
			ころの健康教室参加者数(延)	健康課	ころの健康教室実績	未実施		事業未実施	事業未実施	30人(1回)	26人(1回)	5人(1回)	12人(1回)		改善傾向			
			ゲートキーパー養成人数	健康課	ゲートキーパー養成講座実績	未実施		事業未実施	事業未実施	17人(1回)	19人(1回)	18人(1回)	8人(1回)		改善傾向			
	(2) 幼児期から健康的な生活習慣を身につけられるような情報提供と支援の充実	1歳6か月児・3歳児健康診査、小児生活習慣病検査事業、定期健康診断事業(学校)、教育課題調査研究事業、子どもの定期予防接種事業	授業以外の部活動や習いごとで運動をしている子どもの割合の増加(週4日以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	小学生18.8%	小学生23%以上					19.0%			変わらない			
			午後10時以降に就寝する小学生の割合の減少	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	24.1%	20%以下					30.8%			-	中学生対象のアンケートを行わなかったため比較できないとした。		
			1歳6か月児健康診査で規則正しい生活習慣に関する集団指導の実施率	健康課	1歳6か月児健康診査栄養指導実績(指導を受けた人/対象者)	98.4%		92.2%	91.6%	97.8%	96.1%	中止	94.1%		悪化			
			3歳児健康診査で規則正しい生活習慣に関する集団指導の実施率	健康課	3歳児健康診査栄養指導実績(指導を受けた人/対象者)	95.8%		92.1%	92.0%	92.8%	91.2%	中止	94.0%		変わらない			
			(3) 高齢者が自立して生活するため、成人期と高齢期の介護予防と健康づくりの充実	特定健康診査、後期高齢者健康診査、人間ドック等受検費用助成事業、なるほど行政講座、背粗しよ症予防事業、ウォーキング事業、健康増進ルーム、総合型地域スポーツクラブ、高齢者の定期予防接種	ロコモティブシンドロームの言葉や意味を知っている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	34.0%	65%以上					43.1%			改善傾向	
	65歳以上で地域でスポーツ・趣味・娯楽活動をする人の割合の増加	健康課			白井市民の「健康」に関するアンケート調査	31.7%	40%以上					32.7%				変わらない		
	楽トレ体操実施グループ数	高齢者福祉課			楽トレ体操実績	未実施		12ヶ所	21ヶ所	30ヶ所	33ヶ所	35ヶ所	37ヶ所		改善傾向	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規立上げ団体数が減少した。		
	大腸がん検診未受診者に対する再勧奨による受診率	健康課			白井市住民検診実績	未実施	35%	8.2%	18.0%	30.3%	28.2%	事業未実施	27.1%		-	H28年度事業評価にて対象者及び実施方法を見直し、H29年度より変更したため比較が困難。 対象者：H28⇒前年度受診履歴がなく当該年度も申込未の者 H29年度以降⇒当該年度問診票送付者のうち、前半の検診未受診者		
	大腸がん検診受診率の向上	健康課			白井市住民検診実績	36.7%	50%以上	37.9%	32.5%	34.0%	33.8%	22.9%	28.6%		悪化	新型コロナウイルス感染症の影響により、受診控えが続き受診者数が減少した。		
	3. 生活習慣病の発症予防と重症化の予防	(1) 生活習慣病の発症や重症化を予防する取り組みの充実	特定健康診査、生活習慣病予防検診、人間ドック等受検費用助成事業、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、特定保健指導、生活習慣病予防教室、健康づくり講演会、なるほど行政講座、COPD予防教室、定例健康相談、健診後結果相談、面接相談・電話相談・メール相談、ウォーキング事業、健康増進ルーム、総合型地域スポーツクラブ、健康情報の発信(広報・HP・情報広場)	特定健康診査受診者中のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の抑制	健康課	白井市特定健康診査実績	25.5%	25%以下	24.3%	26.5%	29.5%	28.0%	33.8%	31.5%	悪化		※R2(特定)国32.1% 県32.0%	
COPDの認知度の向上(20歳以上)				健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	46.2%	70%以上					48.7%			改善傾向			
総合型地域スポーツクラブ登録者数(4施設)				生涯学習課	地域総合型スポーツクラブ登録者数実績	861人		932人	884人	817人	777人	777人	698		悪化	新型コロナウイルスの影響により登録者が減少した。		
地域の人たちとのつながりが強いと思う人の割合の増加(20歳以上)				健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	25.5%	30%以上					26.4%			変わらない			
地域をつなぐを重視した健康づくりを実施した活動地区数(小学校区を単位とする)				健康課	地区活動実績	0か所	9か所	0か所 体操作成	0か所 体操作成	4か所 体操周知	8か所 体操周知	2か所 体操周知	1か所 体操周知			悪化		
4. 健康を支え、守るための社会環境の整備	(2) 市民の健康づくりを支援する体制の充実	救急医療体制に関する情報提供、小児医療充実事業、新型コロナウイルス等対策事業	新型インフルエンザの対応マニュアル策定	健康課	対応マニュアル等の策定状況	対応マニュアル策定					対応マニュアルの策定	内容の見直し	内容の見直し	内容継続	内容継続	変わらない		
			新型インフルエンザ発生時の連絡訓練実施	健康課	連絡訓練実施実績	連絡訓練実施		1回	1回	1回	1回	未実施	未実施		悪化			
			広報・HP・健康カレンダー、保健福祉ガイドブック等で市民へ救急医療に関する情報提供を実施	健康課		広報・健康カレンダー等での周知		広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	広報・健康カレンダー等での周知を実施	変わらない		
			地域における支え(1) 合いや、地域での活動を通じた健康づくりなど、子どもから高齢者までがいきいきと暮らせる地域社会づくりの推進	健康課	なるほど行政講座、地域の健康づくり、まちづくり協議会設立推進事業													

第2次しろい健康プラン 【食育推進計画】 めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
 白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課	出所	計画策定前の値 (H26年度)	めざそう値 (H31の目標値)	H28	H29	H30	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の 参考値
1.食と健康づくりの 推進	(1)生涯にわたるライフステージに応じた食育の推進	おすすめレシピ啓発事業、保育園での食育推進事業、学校での食育推進、幼児健康診査(1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)、かみかみ教室、プレ☆パパママスクール、各種料理等教室、食に関する民向け講座、栄養指導の充実事業、いきいき夢情報教室、保育園給食事業、学校給食事業、4か月育児相談事業、幼児歯科健康診査事業(2歳児)、健康相談事業	広報などで地元野菜を取り入れた料理の紹介を行った回数 <b>重点的取り組み1</b>	健康課	健康課事業実績	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	達成		
			食育に関する情報発信の回数	健康課	健康課事業実績	6回	8回	17回	18回	28回	31回	32回	改善傾向			
			給食栄養指導の実施回数(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	教育支援課実績	小学生 131回 中学生 3回	小学生 138回 中学生 3回	小学生 139回 中学生 4回	小学生 141回 中学生 12回	小学校 145回 中学校 8回	小学校 68回 中学校 6回	小学校 120回 中学校 6回	悪化	新型コロナウイルスの緊急事態宣言の発令で学校への訪問ができない期間があった。		
			苦手な食べ物(野菜)がある子どもの割合の減少(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	白井市民の「健康」に関するアンケート調査(アンケートの実施がない場合は白井市食育評価アンケート結果)	小学生 32.3% 中学生 30.7%	小学生 28%以下 中学生 25%以下	小学生 35.9% 中学生 26.4%	小学生 30.0% 中学生 28.7%	(小学生 29.7%) (中学生 31.0%)	- (中学生 27.8%)	(小学生 29.2%) (中学生 27.5%)	小学生 33.2% 中学生 27.5%	変わらない 改善傾向		
			苦手な食べ物(野菜)がある子どもの割合の減少(保育園児)	保育課	食と生活のアンケート結果		38.8%	33.4%	34.0%	36.0%	38.8%	40.2%	悪化			
			苦手な食べ物(野菜)でも食べられる子どもの割合の増加(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	白井市食育評価アンケート結果		小学生 53.6% 中学生 -	小学生 46.6% 中学生 46.0%	小学生 44.1% 中学生 44.9%	小学生 - 中学生 39.1%	小学生 50.2% 中学生 45.3%	小学生 51.4% 中学生 49.2%	悪化 改善傾向			
			嫌いな野菜が多いと回答した保護者の割合の減少(1歳6か月児・3歳児)	健康課	白井市1歳6か月児・3歳児健康診査結果	1歳6か月児 29% 3歳児 41.3%	1歳6か月児 6.7% 3歳児 17.3%	1歳6か月児 9.1% 3歳児 18.2%	1歳6か月児 6.0% 3歳児 18.6%	1歳6か月児 6.1% 3歳児 17.9%	1歳6か月児11.1% 3歳児 13.1%	1歳6か月児 6.8% 3歳児 20.3%	改善傾向 改善傾向			
			1日に野菜料理を5皿以上食べる人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	9.4%	15%以上			9.7%			変わらない			
			1日に野菜料理を5皿以上食べることに ついての啓発回数	健康課	健康課事業実績	20回	19回	25回	22回	18回	4回	10回	悪化	新型コロナウイルスの影響により、他課や他センターと連携した食育支援事業が減少したため。		
			1日に主食・主菜・副菜の3つを揃えて 食べる回数が2回以上の割合の増加 (20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	65.1%	70%以上			59.6%			悪化	※R2 国 36.4% 県 49.7%		
			1日に主食・主菜・副菜の3つを揃えて 食べることに ついての啓発回数	健康課	健康課事業実績	21回	21回	27回	24回	20回	5回	10回	悪化	新型コロナウイルスの影響により、他課や他センターと連携した食育支援事業が減少したため。		
			3食必ず食べることに 気をつけている人の割合の増加 (30歳代～40歳代)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	61.8%	65%以上			63.1%			変わらない			
			3食必ず食べることに ついての啓発回数	健康課	健康課事業実績	16回	15回	21回	20回	18回	4回	8回	悪化	新型コロナウイルスの影響により、他課や他センターと連携した食育支援事業が減少したため。		
			朝食を欠食する子どもの割合の減少 (保育園児)	保育課	食と生活のアンケート結果	2.5%	0%	4.6%	3.9%	1.6%	3.6%	6.8%	1.4%	改善傾向		※H31 国 4.7%
			朝食を欠食する子どもの割合の減少 (小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	全国学力・学習状況調査	小学生 12.7% 中学生 13.4%		小学生 12.2% 中学生 14.9%	小学生 13.6% 中学生 17.3%	小学生 15.0% 中学生 20.9%	小学生 13.2% 中学生 16.1%	小学生* 11.7% 中学生* 16.5%	小学生 8.3% 中学生 14.3%	改善傾向 悪化	R3 国14.2% 県14.4% R3 国18.1% 県19.9%	
			朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合の減少(40歳以上)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績	6.9%		6.7%	6.7%	6.8%	7.0%	7.9% (特定健診のみ)	9.2% (特定健診のみ)	-		※R2(特定) 国 9.2% 県 8.7%
	(2)食育による生活習慣病の予防及び改善	幼児健康診査(1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)、かみかみ教室、各種料理等教室、栄養指導の充実事業、保育園給食事業、学校給食事業、特定保健指導事業	よく噛んで食べている子どもの割合の増加(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	白井市民の「健康」に関するアンケート調査(アンケートの実施がない場合は白井市食育評価アンケート結果)	小学生 63.5% 中学生 54.2%	小学生 70%以上 中学生 60%以上	(小学生 65.2%) -	(小学生 52.4%) (中学生 51.1%)	(小学生 57.2%) (中学生 55.4%)	- (中学生 53.9%)	(小学生 67.6%) (中学生 63.1%)	(小学生 62.7%) (中学生 60.4%)	変わらない 達成		
				健康課	白井市3歳児健康診査票	91.7%	93%以上	87.4%	82.0%	84.3%	81.1%	92.2%	86.7%	悪化		
			人と比較して食べる速度が速い人の割合の減少(40歳以上)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績	23.4%		23.0%	22.6%	24.8%	25.0%	27.3% (特定健診のみ)	27.3% (特定健診のみ)	-	令和2年度より後期高齢者健診の質問票が変更され、対象が特定健診のみとなったため、比較不可とした。	※R2(特定) 国 27.4% 県 25.7%
			BMI値が25以上(肥満)の人の割合の減少(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	19.8%	15%以下			24.3%			悪化			
			BMI値が25以上(肥満)の人の割合の減少(40歳以上)	健康課	白井市特定健康診査・後期高齢者健康診査等実績	22.4%		20.4%	21.6%	23.6%	22.0%	24.2%	25.5%	悪化	※R2(特定) 県 27.7%	
			肥満の子どもの割合の減少(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	白井市定期健康診断集計表	小学生 6.3% 中学生 8.4%		小学生 6.1% 中学生 7.7%	小学生 6.9% 中学生 7.8%	小学生 7.2% 中学生 7.2%	小学生 7.6% 中学生 7.8%	小学生 10.3% 中学生 9.0%	小学生 9.4% 中学生 8.3%	悪化 変わらない	R2【国】 男 12.71% 女 8.89% 【県】 男 15.32% 女 9.64% R2【国】 男12.07% 女7.3% 【県】 男9.06% 女6.23%	
			やせの子どもの割合の減少(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	白井市定期健康診断集計表	小学生 1.1% 中学生 2.4%		小学生 1.6% 中学生 3.1%	小学生 1.9% 中学生 2.9%	小学生 1.5% 中学生 3.1%	小学生 1.61% 中学生 3.58%	小学生 2.3% 中学生 2.4%	小学生 1.8% 中学生 3.7%	悪化 悪化		
			減塩や薄味を心がけている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	60.0%	65%以上			56.6%			悪化	※R2 国 64.3%		

○「国・県の値」列の※印は、国・県に当市と同じ指標がなく、近似の値を参考として掲載しているものです

第2次しろい健康プラン 【食育推進計画】 めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
 白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課	出所	計画策定前の値 (H26年度)	めざそう値 (H31の目標値)	H28	H29	H30	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の 参考値	
2.食を通じたコミュニケーション	(1)食を通じたコミュニケーションの推進	保育園での食育推進事業、学校での食育推進、食に関する市民向け講座、保育園給食事業、学校給食事業、児童館での食育活動、高齢者食事会事業	「共食」の意味を知っている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	20.5%	40%以上				26.1%			改善傾向			
			教室などで「共食」の大切さについての啓発回数 <b>重点的取り組み2</b>	健康課	健康課実事業績		38回	26回	30回	30回	30回	6回	14回	悪化	新型コロナウイルスの影響により、他課や他センターと連携した食育支援事業が減少したため。		
			家族と一緒に食事をとる回数の増加(20歳以上) [朝+夕]	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	週9.1回	週10回以上					週9.3回			変わらない		※R2 国 週9.6回
			子どもだけで食事をすることが多いと回答した保護者の割合の減少(3歳児)	健康課	白井市3歳児健康診査結果	2.0%		2.3%	2.2%	3.0%	2.8%	4.3%	7.7%	悪化			
	(2)農業への理解と食文化の継承と普及	保育園での食育推進事業、学校での食育推進、各種料理等教室、保育園での食育推進事業、学校での食育推進、保育園給食次号、学校給食事業	食事を残したときに「もったいない」と思う子どもの割合の増加(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	小学生 90.2%	小学生 93%以上					小学生 89.1%			変わらない		
			給食の残菜率の低下(小学生・中学生)	教育支援課 (学校給食センター)	学校給食共同調理場実績	小学生 13.6% (H27)		小学生 12.2%	小学生 12.6%	小学生 11.3%	小学生 21.1%	小学生 17.1%	小学生 18.9%	悪化	H27年度は旧給食センターのため、米飯の残菜が含まれていない。		
			食品ロス削減(もったいない)についての啓発回数	健康課 環境課	健康課・環境課事業実績	2回		24回	27回	9回	13回	0回	3回	改善傾向			
			学校給食への地元農産物の利用品目数の維持	教育支援課 (学校給食センター)	学校給食共同調理場実績	13品目	13品目以上	15品目	15品目	15品目	14品目	14品目	14品	達成			
			保育園給食への地元農産物の利用品目数の維持	保育課	公立保育園実績	6品目		4品目	6品目	2品目	3品	3品	2品	悪化			
			食事の手伝いをいつも、時々している子どもの割合の増加(小学生・中学生)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	小学生 56.7%	小学生 60%以上					小学生 49.4%			悪化		
			中学生 50.2%	中学生 55%以上				中学生 64.1%			達成						
	日本食や地域の伝統的な料理についての啓発回数	健康課	健康課事業実績	1回		2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	改善傾向				
	(3)地域の食に親しめるような取り組みの充実(地産池消の促進)	各種料理教室等の教室事業、市HPによる白井産農産物のレシピ、農産加工研究会への支援、市民農園開設の支援、JA西印旛農産物直売組合白井支部への支援、なし坊フェスタの開催支援	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	35.0%	45%以上						29.7%			悪化		
	3.食育を推進するための食環境の整備	(1)食育に関わる人材育成とネットワークづくり	食生活改善推進員活動事業、食生活改善推進員養成事業、(仮)食育推進ボランティア育成事業、栄養士連絡会、他職種との連携	食育の言葉も意味も知っている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	64.5%	75%以上				69.3%			改善傾向		
				「食育」の啓発回数	健康課	健康課事業実績	9回		12回	10回	8回	11回	4回	12回	改善傾向		
(2)まちをあげた食育推進の取り組み		飲食店や商店への健康に配慮したメニューの提案、食品衛生管理の普及啓発事業、食の安全への取り組み、保育園給食事業、学校給食事業	食に関する指導の全体計画及び年間計画を作成している学校数の増加	教育支援課 (学校給食センター)	学校給食実施状況等調査	10校	14校	12校	12校	12校	12校	14校	14校	達成			
		しろい食育サポート店の登録店舗数	健康課	健康課事業実績	未実施					アンケート調査実施	17店舗/180店舗	23店舗	28店舗	改善傾向		※R4.6 県 39店舗	

## 第2次しろい健康プラン【歯科口腔保健推進計画】めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課	出所	計画策定前の値 (H26年度)	めざそう値 (H31の目標値)	H28	H29	H30	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の 参考値	
1. 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善	(1) 歯科口腔保健の正しい知識の普及	1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、プレハママスクール、かみかみ教室、保育園歯科指導、児童生徒の歯科保健指導、生活習慣病予防教室、いきいき夢情報教室、スポーツフェスタ、市民大学校、なるほど行政講座、すこやか相談、電話・来所相談	8020運動の言葉と意味がわかる人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	38.4%	45%以上				43.8%			改善傾向			
			1歳6か月児で間食として甘い食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の減少	健康課	白井市1歳6か月児健康診査結果	8.9%	5%以下	7.9%	11.1%	10.0%	9.9%	8.8%	6.9%	改善傾向		R2県5.5%	
			歯みがきの授業を受けたことのある児童の増加	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	83.3%	85%以上				72.3%				悪化		
			時々歯肉を自分で観察している人の増加(20歳以上)	健康課	白井市歯周病検診結果	17.0%	25%以上	45.1%	44.2%	50.0%	36.3%	36.4%	39.7%	達成			
	(2) 自らが進んで歯科口腔保健に関心を持ち、むし歯や歯周病予防に取り組む意識の向上	3歳児健診、巡回診療指導、プレハママスクール、かみかみ教室、保育園歯科指導、児童生徒の歯科保健指導、生活習慣病予防教室、いきいき夢情報教室、スポーツフェスタ、市民大学校、なるほど行政講座、すこやか相談、電話・来所相談、よい歯のコンクール、標語・作文コンクール、むし歯予防作品展	中学1年生の昼食後の歯みがき実施生徒の割合の増加	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	19.4%	30%以上					参考値10.6% (高校1年生のデータ)			—	平成31年度の中学1年生のデータがないため評価できないとした	
			むし歯予防や歯周病予防効果のある歯みがき剤を使用する人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	23.6%	30%以上					36.1%			達成		
			1歳6か月児で毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある人の割合の増加	健康課	白井市1歳6か月児健康診査結果	85.8%	90%以上	89.9%	90.7%	90.2%	90.3%	91.2%	89.9%	改善傾向		R3県93.6% R2健やか(国)74.1%	
			歯みがき剤を使った1日1回以上の歯みがきを実践している児童生徒の増加	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	88.8%	95%以上					87.2%			変わらない		
			歯間部清掃用器具を使用している人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市歯周病検診結果	42.6%	60%以上	61.0%	59.3%	55.7%	67.3%	70.5%	66.4%	達成		R3県63.5%	
			定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市歯周病検診結果	23.7% (H27年度データ)	50%以上	30.5%	33.6%	36.8%	32.7%	38.6%	25.9%	改善傾向		R3県43.0%	
			3歳児でむし歯のない人の割合の増加	健康課	白井市3歳児健康診査結果	83.1%	90%以上	81.3%	82.5%	82.2%	84.2%	89.8%	87.6%	改善傾向		R3県90.7% R2健やか(国)88.2%	
			12歳児のむし歯本数の減少	教育支援課	白井市児童生徒健康診断結果	1.6本	1.2本以下	1.04本	0.87本	0.92本	0.81本	未把握	未把握	—	計画通り実施したが、新型コロナウイルスの影響により歯科健診の方法が変更となったため、むし歯本数は未把握。	R2県0.60本 R2国0.68本	
2. 歯科疾患の予防	(1) 生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、保育園歯科健診、就学前健診、児童生徒健康診断、発達センター歯科健診、歯周疾患検診、巡回診療指導、後期高齢者歯科健診、生活習慣病予防教室、なるほど行政講座、電話・来所相談、「歯と口の健康週間」等普及啓発	歯周疾患検診受診率の増加	健康課	白井市歯周疾患検診結果	3.0%	5%以上	2.4%	2.9%	2.9%	3.0%	2.5%	3.3%	改善傾向			
			妊婦歯科健診受診率の増加 重点的取り組み1	健康課	白井市妊婦歯科健診結果	23.2% (H31年度)	30%以上	12.2%	18.9%	16.3%	22.2%	14.8%	16.6%	改善傾向			
			60歳で未処置歯を有する人の減少	健康課	白井市歯周病検診結果	50.0%	20%以下	46.2%	68.8%	21.1%	29.4%	22.2%	46.7%	改善傾向		H28国34.4%	
			60歳で24本以上の自分の歯を有する人の増加	健康課	白井市歯周病検診結果	95.0%	90%以上	100%	100%	95%	88.2%	88.9%	93.3%	達成		H28国74.4%	
			76歳で22本以上の自分の歯を有する人の増加	健康課	白井市後期高齢者歯科健診結果	事業未実施	50%以上	100%	65.3%	66.9%	66.7%	61.8%	65.8%	達成			
			中学生で歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	教育支援課	白井市児童生徒健康診断結果	36.5%	25%以下	21.7%	24.4%	20.7%	19.7%	11.7%	14.5%	達成		R2県18.3%	
			眼瞼性肺炎の言葉と意味がわかる人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	52.5%	60%以上					70.9%			達成		
	(2) 歯科疾患と全身の健康のかかわりについて	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、保育園歯科健診、児童生徒健康診断、歯周疾患検診、発達センター歯科健診、児童生徒の歯科保健指導、生活習慣病予防教室、「歯と口の健康週間」等普及啓発	40歳で進行した歯周炎を有する人の割合の減少	健康課	白井市歯周疾患検診結果	50.0%	35%以下	31.6%	18.2%	9.1%	7.7%	12.5%	35.7%	改善傾向		H28国44.7% R2県47.9%	
			妊婦の進行した歯周炎を有する人の割合の減少	健康課	千葉県歯科健康診査実績 白井市妊婦歯科健診結果	事業未実施	40%以下	20.4%	13.1%	12.3%	12.9%	5.6%	5.8%	達成			
			喫煙する者の割合の減少(歯周病検診受診者)	健康課	白井市歯周病検診結果	未把握	13%以下	4.9%	2.5%	2.8%	8.2%	2.4%	4.3%	達成		R3県13.7%	

第2次しろい健康プラン【歯科口腔保健推進計画】めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課	出所	計画策定前の値 (H26年度)	めざそう値 (H31の目標値)	H28	H29	H30	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の 参考値			
3.生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得	(1)生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失予防の取り組みの充実	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、保育園歯科健診、就学前健診、児童生徒健康診断、発達センター歯科健診、歯周疾患検診、巡回診療指導、後期高齢者歯科健診、かみかみ教室、保育園歯科保健指導、児童生徒の歯科保健指導、いきいき夢情報教室、スポーツフェスタ、市民大学校、電話・来所相談、児童の食に関する指導	3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合の増加	健康課	白井市3歳児健康診査結果	91.7%	93%以上	87.4%	86.4%	89.8%	87.9%	89.8%	87.8%	悪化					
			中学1年生でよく噛んで食べていると思う生徒の割合の増加	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	54.2%	60%以上					53.9%			変わらない				
			硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	61.3%	65%以上						62.4%			変わらない	R1国78.6%		
			半年前よりも硬いものが食べにくい76歳の人の割合の減少	健康課	後期高齢者歯科口腔健康診査(76歳対象)	23.5% (H30年度データ)	20%以下					23.5%	29.3%	20.9%	21.1%	改善傾向			
			3歳児で不正咬合等が認められる幼児の減少	健康課	3歳児健康診査票	11.2%	10%以下					12.8%	12.8%	9.6%	13.7%	7.6%	13.1%	悪化	R1国14.0%
			後期高齢者歯科健診受診率の増加	健康課	白井市後期高齢者歯科健診結果	1.2% (H28年度データ)	15%以上					1.2%	15.5%	17.2%	15.4%	14.6%	12.2%	改善傾向	
4.定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健	(1)障害を有する人、介護を必要とする人などの定期歯科健診受診機会の実施把握	発達センター通所児に対する歯と口の健康に関するアンケート調査	発達センター通所者の定期歯科健診受診割合の増加	健康課 障害福祉課	発達センター歯科健診結果	未調査	70%以上		アンケート調査 1回実施 (88件回答) 57/88 64.8%	発達センター歯科健診受診20人(受診者全員に歯科医からの提案リーフレットを配布)	発達センター歯科健診受診12人(受診者全員に歯科医からの提案リーフレットを配布)	発達センター歯科健診中止	発達センター歯科健診受診6人(受診者全員に歯科医からの提案リーフレットを配布)	—	定期歯科健診受診率の調査はせず、発達センター歯科健診受診者に歯科医療情報の提供を行った。				
			介護老人施設等に対する歯科健診の取り組みに関するアンケート調査	健康課	市内介護老人施設実態調査	未調査	90%以上				91.2%				—	アンケート調査計画なしのため。			
	(2)障害を有する人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の充実	発達センター歯科健診、巡回診療指導、電話・来所相談、地域包括支援センターのケアマネジメント向上委員会、健康づくり推進協議会	歯科医療が受けられない難病患者の割合の減少	健康課	白井市障害福祉プラン策定に向けての基礎調査	2.4%	1%以下	未調査	調査項目変更により調査不可	調査項目変更により調査不可	調査項目変更により調査不可	調査項目変更により調査不可	調査項目変更により調査不可	調査項目変更により調査不可	—	難病患者への調査項目変更により、現状値の把握が困難となったため評価不能			
			かかりつけ歯科医がある人の割合の増加(発達センター通所者)	健康課	白井市健康課	未調査	70%以上				64.8%					—	かかりつけ歯科医のほかに所属などで定期歯科健診の機会をもつ児が多数のため未調査。		
5.歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備	(1)定期的歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、保育園歯科健診、就学前健診、児童生徒健康診断、発達センター歯科健診、歯周疾患検診、巡回診療指導、後期高齢者歯科健診、プレハブマスタール、児童生徒の歯科保健指導、生活習慣病予防教室、いきいき夢情報教室、市民大学校、なるほど行政講座、すこやか相談、電話・来所相談	過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	50.8%	60%以上							改善傾向		R3県57.0%			
			かかりつけ歯科医がある人の割合の増加(20歳以上)	健康課	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	68.2%	70%以上									変わらない			
			かかりつけ歯科医がある人の割合の増加(3歳児)	健康課	3歳児健康診査票	45.0%	50%以上					37.9%	42.6%	39.3%	38.8%	43.8%	42.3%	悪化	R2健やか(国)50.8%
	(2)歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築	むし歯予防作品展、「歯と口の健康週間」等の普及啓発、(仮称)歯科口腔保健推進ボランティア育成、(仮称)市内健康づくり推進会議、(仮称)歯科口腔保健評価会議、健康づくり推進協議会	歯科口腔保健ボランティアの育成重点的取り組み3	健康課	白井市健康課	事業未実施	20人	6人	6人	9人	12人	12人	12人	12人	改善傾向	新型コロナウイルス感染症拡大のため、活動・募集を中止した。			

○「国・県の値」列の※印は、国・県に当市と同じ指標がなく、近似の値を参考として掲載しているものです

第2次しろい健康プラン【自殺対策計画】めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
 白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課・出所	現状値 (測定年度)	めざそう値 (測定年度の目安)	H31	R2	R3	評価 最新値で判断	備考	国県の 参考値		
1.地域におけるネットワークの強化	(1)地域における自殺対策関係団体・機関との連携の強化	健康づくり推進協議会、自殺対策ネットワーク会議、白井市家庭等における暴力対策ネットワーク会議、しろい高齢者みまもりネット、白井市くらしと仕事のサポートセンター支援調整会議、庁内健康づくり推進会議	自殺対策ネットワーク会議の設置	健康課	未設置 (H30年度)	設置 (H31年度)	設置	設置	設置	達成				
			自殺対策ネットワーク会議の開催	健康課	未設置のため未開催 (H30年度)	1回以上開催 (H31年度)	開催 会議 1回 書面での意見聴取 1回	開催 会議1回	開催 会議1回	達成				
2.自殺対策を支える人材の育成	(1)様々な分野でのゲートキーパー(命の門番)の養成	ゲートキーパー養成講座 地域子育て支援拠点事業 (ファミリーサポートセンター事業、子育て支援センター)従事者研修	ゲートキーパー(命の門番)の養成 (各小学校区累計10人以上※) ※R2年度までは2人	ゲートキーパー養成講座実績	取り組み開始 累計2人以上 5小学校区 (H30年度)	累計10人以上 9小学校区 (R3年度)	累計2人以上 7小学校区	累計2人以上 8小学校区	累計10人以上 1小学校区	—	計画策定当初から令和3年度に小学校区ごとの養成目標(めざそう値)を増加することとしていた。そのため、達成小学校区が減少した。			
			ゲートキーパー養成講座の開催		1回		1回	1回	1回	達成				
			ゲートキーパー養成者数		21人		23人	累計 44人	18人	累計 62人	8人	累計 70人	改善傾向	コロナ禍での開催のため、自身や家族の体調等を理由に欠席せざるを得ない状況が生じたことなどから受講者が減少した。 令和3年度からめざそう値を増加させたため、目標を達成した小学校区は1校のみとなったが、6小学校区で増員となった。 養成数の少ない小学校区からの受講を依頼していく。 ※累計人数で評価した
			第一小学校区		1人	各小学校区 累計10人以上 ※R2年度までは2人	3人	4人	3人	7人	0人	7人		
			第二小学校区		0人		0人	0人	1人	1人	2人	3人		
			第三小学校区		1人		3人	4人	2人	6人	0人	6人		
			大山口小学校区		4人		3人	7人	2人	9人	1人	10人		
			清水口小学校区		2人		4人	6人	1人	7人	0人	7人		
			南山小学校区		2人		2人	4人	2人	6人	1人	7人		
			七次台小学校区		0人		1人	1人	3人	4人	2人	6人		
			池の上小学校区		2人		1人	3人	2人	5人	1人	6人		
			桜台小学校区		3人		2人	5人	2人	7人	1人	8人		
			市外(非常勤職員等)		2人		0人	2人	0人	2人	0人	2人		
	職員	4人	4人	8人	0人		8人	0人	8人					
	(2)自殺対策の連携調整を担う人材の育成	窓口対応職員、相談員・教職員などへの研修会、白井市くらしと仕事のサポートセンター支援調整会議、庁内健康づくり推進会議	養成講座などを実施する指導員や講師の育成	ゲートキーパー養成者研修実績	未実施 (H30年度)		10人 (R2年度)	未実施	未実施	実施 受講者 11人 登録者 4人	改善傾向			
	3.市民への啓発と周知	(1)自殺予防週間と自殺対策強化月間における啓発活動の推進	自殺予防週間、自殺対策強化月間における普及啓発、リーフレット・啓発グッズの作成	相談窓口カード、自殺予防週間などの啓発リーフレットの配布	健康課		未実施 (H30年度)	全戸配布 (R2年度)	未実施	実施	実施	達成		
				自殺対策強化月間におけるイベントの開催	健康課	未実施 (H30年度)	年1回実施 (R2年度)	未実施	実施	未実施	変わらない	感染拡大の防止のため、啓発物の直接配布などのイベントは実施せず、駅やコンビニ・スーパーなどの協力を得て周知することとした。		
				自殺予防週間、自殺対策強化月間を聞いたことがある人の割合(20歳以上)	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	58.5% (H31年度)	66%以上 (R7年度)	58.5%	552/944	—	—	—	計画前後で比較するデータがないため評価できないとした	(目標値) 国民の2/3 以上
				自殺予防週間、自殺対策強化月間の周知啓発を実施した場所数	健康課	2か所		9か所	36か所	41か所	改善傾向			
		(2)自殺や自殺対策関連事業などに関する正しい知識の普及啓発	自殺予防週間、自殺対策強化月間における普及啓発リーフレット・啓発グッズの作成、情報の発信(広報誌など)、こころの健康教室、なるほど行政講座、健康づくり講演会、インターネットなどを活用した普及啓発	自殺やうつ病に関連する講演会や講習会に参加したことがある人の割合(20歳以上)	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	4.6% (H31年度)	8%以上 (R7年度)	4.6%	43/944	—	—	—	計画前後で比較するデータがないため評価できないとした	
こころの健康教室の参加人数				こころの健康教室実績	30人 (H30年度)		26人	5人	12人	変わらない	人数での評価は困難であるが、開催(普及啓発)することができた			
こころのフォーラムへの参加人数				こころのフォーラム実績	63人 (H30年度)		中止	中止	40人	変わらない	人数での評価は困難であるが、開催(普及啓発)することができた			
ゲートキーパー(命の門番)の言葉と意味を知っている人の割合(20歳以上)				白井市民の「健康」に関するアンケート調査	9.5% (H31年度)	33%以上 (R7年度)	9.5%	90/944	—	—	—	計画前後で比較するデータがないため評価できないとした	(目標値) 国民の1/3 以上	
		こころの健康教室・ゲートキーパー養成講座で参加前からゲートキーパーの言葉と意味を知っている人の割合	こころの健康教室・ゲートキーパー養成講座のアンケート	21.3%		21.7%	10/46	21.3%	5/23	10.0%	2/20	悪化	ゲートキーパーの周知はまだ開始したばかりであり、継続した周知啓発が必要。	

○「国・県の値」列の※印は、国・県に当市と同じ指標がなく、近似の値を参考として掲載しているものです

第2次しろい健康プラン【自殺対策計画】めざそう値の達成に向けた経過一覧表

※網掛けはめざそう値として「第2次しろい健康プラン」の冊子に掲載した項目。  
白抜きの項目は、多くのめざそう値の目標値が平成31年度に実施予定の市民の「健康」に関するアンケートによるものとしているため、計画期間内に現状を把握する参考とするために設定した代替項目。

施策の方向性	具体的な取り組み	事業名	目標項目 (網掛けは計画のめざそう値)	担当課・出所	現状値 (測定年度)	めざそう値 (測定年度の目安)	H31		R2		R3		評価 最新値で判断	備考	国県の 参考値	
4. 生きることの促進要因への支援	(1)自殺のリスクを抱える可能性のある人への支援	こころの相談、心配ごと相談(弁護士相談など)、家庭児童相談、女性生き生き相談福祉相談、地域包括支援センター総合相談、生活困窮者自立相談支援事業、窓口対応職員、相談員・教職員などへの研修会、ニート・引きこもり相談会、子ども食堂・学習支援の活用、しろい高齢者みまもりネット、白井市くらしと仕事のサポートセンター支援調整会議	家族以外に、自分の健康に関する悩みや不安を相談できる人がいる割合の増加(20歳以上)	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	65.3% (H31年度)	70%以上 (R7年度)	65.3%	616/944					—	計画前後で比較するデータがないため評価できないとした		
			こころの健康教室の参加者の内、自分の健康に関する悩みや不安を相談できる人がいる割合	こころの健康教室のアンケート	90.0%		84.0%	21/25	40.0%	2/5	91.7%	11/12	変わらない	R2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者も少ないため、数値の変動が大きい。		
	(2)自殺未遂者などへの支援の充実	こころの相談、心配ごと相談(弁護士相談など)、いのちの電話(県)、夜間相談窓口の周知、教育相談	<相談窓口の開催日数>													
			こころの健康相談	障害福祉課	33日 (H31年度)		33日		24日		28日	変わらない				
			心配ごと相談	社会福祉協議会	135日 (H31年度)		135日		87日		109日	悪化	新型コロナウイルス感染症の流行により、相談員・相談の枠を減らすなどの感染対策を行った。			
			教育相談	教育支援課	251日 (H30年度)		254日		242日		236日	変わらない	令和3年度まで週5日開催。令和4年度から週4日に減少。			
			<相談窓口の周知の実施>													
			千葉いのちの電話	健康課	実施 (H30年度)	実施	実施	実施	実施	実施	達成					
	夜間の相談窓口	健康課	実施 (H30年度)	実施	実施	実施	実施	実施	達成							
	(3)遭われた人への支援の充実	こころの相談、心配ごと相談(弁護士相談など)、自死遺族支援公開講座(県)情報提供、わかちあいの会(県)情報提供	遺族に対する支援情報の提供(窓口でのリーフレット配布)	健康課	未実施 (H30年度)	実施 (R2年度)	未実施	実施	実施	達成	R3に死亡届提出者へ配布する冊子「おくやみハンドブック」を作成した。その冊子内に自死遺族支援に関する情報も掲載している。					
5. 児童生徒のSOSの出し方に関する教育	(1)SOSの出し方に関する教育の推進	SOSの出し方教育	児童・生徒のSOSの出し方に関する教育の実施	教育支援課	取り組み開始 (H30年度)	実施(全小・中学校) (R2年度)	実施	実施	実施	達成	全小中学校で継続実施ができています					
			児童・生徒のSOSの出し方に関する教育を実施した小学校・中学校の数	教育支援課	小学校9校 中学校5校 (H30年度)	実施(全小・中学校) (R2年度)	小学校9校 中学校5校	小学校9校 中学校5校	小学校9校 中学校5校	達成	全小中学校で継続実施ができています					
	(2)インターネットやSNSの利用など、若者の特性に応じた支援の充実	インターネット・SNS相談窓口の周知、インターネットなどを活用した普及啓発、学校非公式サイト対策事業	SNS相談を行う団体があることについての普及啓発(高校1年生) ※SNS相談を行う団体があることの認知度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	31年度 29.4%	66%以上 (R7年度)	29.4%	278/944				—	計画前後で比較するデータがないため評価できないとした			